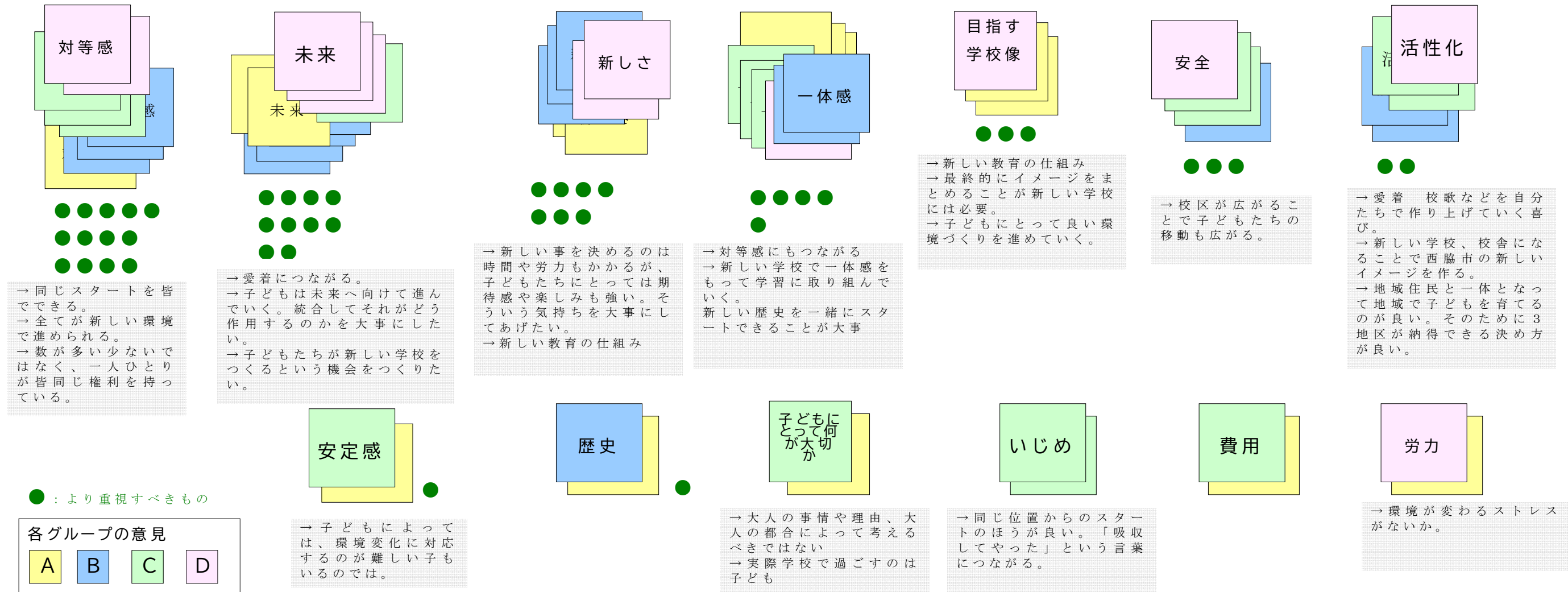


委員意見記録【まとめ】

新設統合	校区再編/吸収統合
(理由) <u>○子どもたちの新しいスタートライン</u> ・子どもたちが全員同じ条件で、新しい環境でスタートできることを重視したい。 ・子どもの意見を聞くと、重小が大勢なので入っていくのが大変ではないかと感じているようであった。そういった子どもの人間関係にも配慮して、全員で新しい同じスタートラインに立ってほしい。 ・知らないことに慣れなければならない不安や負担を、一方だけが抱えるよりも、みんなで乗り越えていくことができる新設統合がよいのではないか。 ・統合校の児童や保護者の不安感、負担感は平等になるようにしてほしい。 ・芳田小学校の子どもたちが重春小学校に入っていく際の不安感を軽減できるのではないか。 ・子ども目線から考えれば、せっかく校舎も新しくなるのであれば、対等の統合がよいのではないか。 <u>○子どもが主体</u> ・大人の願望や思惑が先行するのではなく、子どもたちがスムーズに学校生活に馴染めることを最優先すべき。 ・学校や地域の歴史云々や統合方法による費用のことは子どもの目線に立っていないのではないか。 ・大人が子どもたちのバックアップ体制をしっかりと整えるべき。 <u>○新しい学校(歴史)づくりと一体感の醸成</u> ・開校式を一緒にできること、新しい歴史と一緒にスタートできることは、統合校の子どもたちにとってよいことではないか。子どもたちのためになるのであれば、そのために大人は手間をかけるべき。 ・新しい学校名や校歌を考えることで、学校を子どもたちが自分たちで創り上げていくことができる。 ・新設統合によって、両校の子どもたちが新しい歴史をともに作り上げることに価値がある。 ・これまでも幾度となく校名が変わってきたが、歴史はつながっている。 ・開校式などを通じて、統合校としての一体感を醸成できる。 ・統合は学校名を変えるのであれば、貴重な機会。重春、野村、芳田の3つの地区がひとつの校区になるので、未来志向でそれにふさわしい名前を考えてはどうか。 ・西脇南中学校の事例(野村中学校、重春中学校ではなく西脇南中学校という全く新しい学校名になったことで、子どもたちがすぐに打ち解けられた)を参考に、新しい学校にすれば、子どもたちがスムーズに馴染める可能性があるのではないか。 ・中学校は、重春でも野村でもなく西脇南中学校という名前になっていることで、子どもたちは気持ちの切り替えができ、すんなり溶け込めたように思う。 ・子どもたちに多様性を大事にする姿勢を見せることができ、両校が共に新しくスタートすれば、「入れてやった」「入れてもらった」というような空気感は生まれないのではないか。 <u>○地域の活性化・イメージアップ</u> ・色んなことを見直したり、新しくつくっていくことは地域にとっても良い機会になるのではないか。 ・新しい学校は、地域全体の活性化やイメージアップにもつながる可能性があるのではないか。 ・加東市のように新しい学校名にすることで、西脇市に来たくなるようなイメージに繋がるのではないか。 ・後に控える統合のモデルケースとなれるように。 ・校舎も建て替えられるのであれば、新しい名前がよいのではないか。	(理由) <u>○子どもたちの負担</u> ・重春小学校の校舎工事が予定されており、校舎の移動など、教職員や児童に相当な負担がかかる状況になる。その上で、新設統合となると、さらに負担が増大する。吸収統合であれば、その負担を軽減できる可能性がある。 ・学校規模に大きな差があるにもかかわらず、新設統合を選択した場合、小さい学校にとっては、かえって負担になるかもしれない。 ・教職員の負担増が子どもたちに影響を及ぼすリスクがある。 ・新設統合になれば、やらなければならないことが多くなり、先生の負担が増えて、そのことで子どもたちに負担がかかるのではないか。 ・新しいこと、新しいルールなど沢山できることで、子どもたちにとって大変なのではないか。負担は少ない方がよい。 ・子どもたちは、本来、すぐに友だちになれるものだから、吸収統合で良いと思う。 ・子どもたちはすぐに友だちになれるため、統合方式自体は大きな問題にならないのではないか。 ・吸収統合になったとしても、先生方が芳田の子どもたちをしっかりと注意して見てくれるのではないかと思う。 <u>○費用など統合に係る負担軽減</u> ・新設には、膨大な項目の決定、看板の架け替え、新しい備品の購入など、費用と労力が大量に発生する。 ・全てを新たに決めていくのは大変ではないか。費用負担(体操着など)や閉校式、開校式など。 ・開校式・閉校式などの準備に多くの労力や費用をかけるぐらいなら、芳田小学校の子どもたちのための支援(スクールバスの運行、学力向上策など)に使うべき。 ・少数意見は大切だと思うが、費用・労力を考えると、芳田の子どもたちのためにそれを使いたい。 ・新設統合にかかる努力とお金を芳田の子どもたちのために使ってあげたい(スクールバスなど) ・費用は芳田の子の分を市が負担してはどうか。 <u>○重春小学校への愛着と歴史の継続</u> ・これまでの歴史を大切にすることも重要ではないか(新設統合では、どちらの学校も閉校になってしまうが、どちらか一方が残るべき)。 ・現在の重春小学校に愛着を持つ住民や関係者がいる。 ・重春小学校の名前を残してほしい。
今後の協議について 大切にしたい視点、必要な情報、その他の意見	
・誰もが笑顔で登校できるような学校であるべき。 ・相手の立場になって考えていきたい。 ・まず、子どものことを考えるべき。大人のエゴではなく、スムーズになじめるように周囲が取り組んでいくべき。 ・統合は親や大人の願望が入りすぎている可能性があるため、子どもたちにとって何が最善かを冷静に議論すべき。 ・子どもの喧嘩はあるかもしれないが、その原因を統合方法に結びつけるのは大人側の考えではないか。 ・子どもたちが喧嘩をしても、周囲の大人がそれを何でも直接的に統合の失敗と結びつけないよう、配慮が必要。 ・地域の声は回答数が少なく、傾向を考えるあたにはならないのではないかと思う。 ・今回のアンケート回収率が約 10%と低かったため、これを地域の総意としてまとめるのは難しい。今後の議論においては、この点を踏まえるべき。 ・実際に子どもたちと向き合う教職員の意見を、もっと多く聞くべき。 ・中立的な立場の先生方の意見は特に貴重であり、現場の負担や課題を明確にすることが重要。 ・重春小学校の放課後児童クラブ(学童保育)の部屋が狭すぎる。統合に際して、改善してほしい。	

委員意見記録【まとめ】 重視する視点について

統合準備委員会全体(4グループ)の集約結果



各グループ意見

